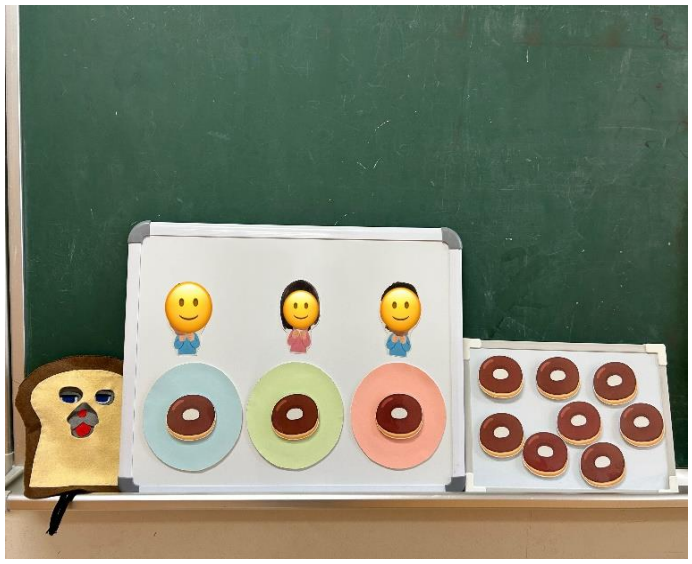
小学部２学年



題材名：パンどろぼう

＜材料＞

・絵本「パンどろぼう」（柴田 ケイコ作）・パンどろぼう（フェルト）・パンや家のイラスト・強力磁石・ホワイトボード・紙皿

＜使い方＞

・パンを決められた数お皿に置く。

<この教材で伸ばしたい力>

・1対1対応

・数量

＜使う時のポイント＞

・活動の始めに絵本を読んで見通しがもてるようにする。

・誰に何個置くかわかるようにお皿を置くようにする。

〈指導領域・教科等〉

・算数

題材名：自立課題

＜材料＞

・作りたい教材に必要な材料。

＜使い方＞

・課題ファイルの写真から教員が課題を選んだり、児童が課題を選んだりして３つの課題に取り組む。

<この教材で伸ばしたい力>

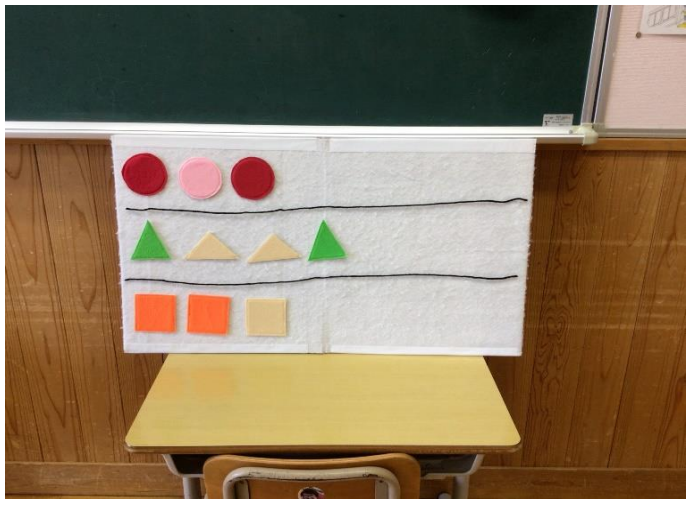
・最初から最後まで一人で取り組む力。

＜使う時のポイント＞

・３つの課題が終わった後にお楽しみなどがあると、児童のやる気をより引き出せます。

〈指導領域・教科等〉

・自立活動



題材名：３つの形に分けてみよう！

＜材料＞

・パネル・〇△□

＜使い方＞

・〇△□の中から１つの形を教員が選び、児童は教員から渡された形と同じ列に貼り付ける。または、教員から口頭で指定された形を選択し、同じ列に貼り付ける。

<この教材で伸ばしたい力>

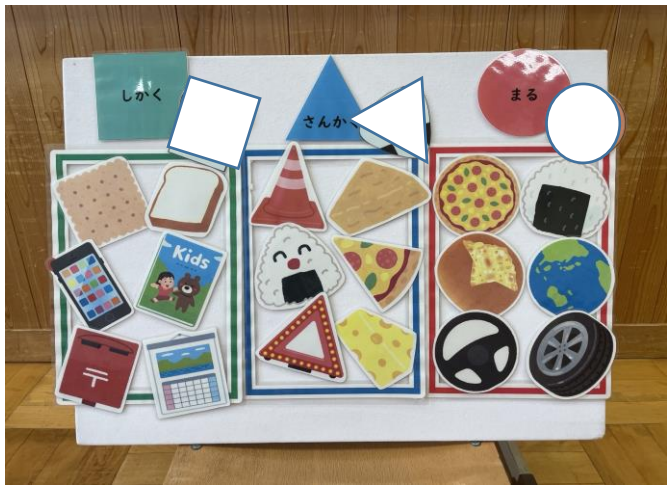
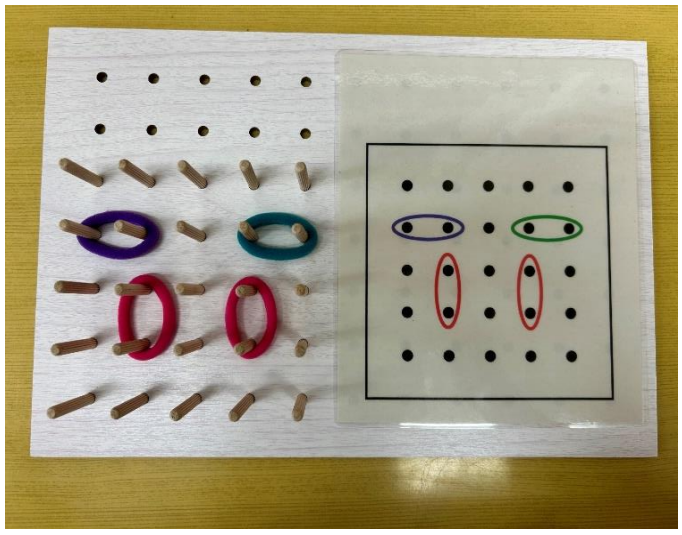
・〇△□の形の弁別

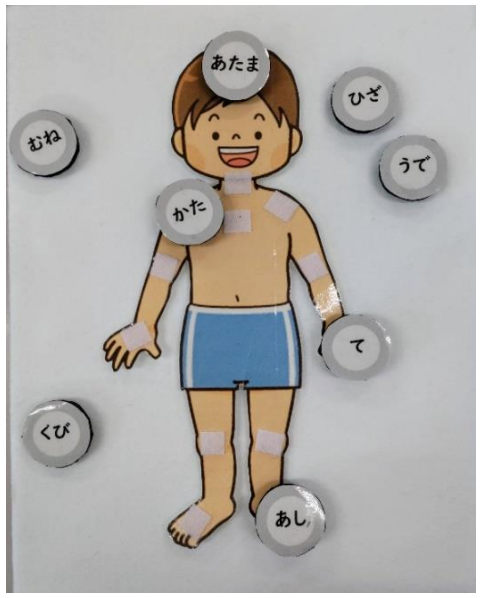
＜使う時のポイント＞

・使う前に〇△□の名称を確認する。

〈指導領域・教科等〉

・算数

<table>
<tr>
<td> 
</td>
<td>題材名：なかまをあつめて！アンパンマン！
＜材料＞
・パネル：ラミネート、紙、マジックテープの凸
・ボード：木の板、マジックテープがくっつく布
＜使い方＞
・形の仲間分け
<この教材で伸ばしたい力>
・形の違いを捉え、弁別する力
＜使う時のポイント＞
・形を指でなぞるなどし、形の違いに気付かせながら仲間分けをする。
〈指導領域・教科等〉
・算数</td>
</tr>
<tr>
<td>  </td>
<td>題材名：ゴム掛け
＜材料＞
　有孔ボード、ダボ、色付きのゴム、カード
＜使い方＞
　カードと同じ位置に同じ色のゴムを引っ掛けたり、自由に引っ掛けたりする。
<この教材で伸ばしたい力>
　手指の巧緻性、目と手の協応を高める。
＜使う時のポイント＞
・実態に応じて、ダボの数を増減させて難易度を変えることができる。
〈指導領域・教科等〉
・自立活動</td>
</tr>
<tr>
<td>
</td>
<td>題材名：全部でいくつかな？
＜材料＞
・ボックス・フック・数カード（表：イラスト　裏：数字）
＜使い方＞
・フックに数カードを一枚ずつ並べ、子どもに全部でいくつあるかを問う
＜使う時のポイント＞
・問う際はイラストに合わせて「〇匹？」「〇枚」と単位を意識できるようにする
・子どもたちの身近にあるイラストを使用し、楽しい雰囲気で行えるようにする。
<この教材で伸ばしたい力>
・数唱や操作活動を通して、数と物の対応関係を理解する力を育てる
〈指導領域・教科等〉
・算数　２・３段階</td>
</tr>
</table>



題材名：もののなまえ

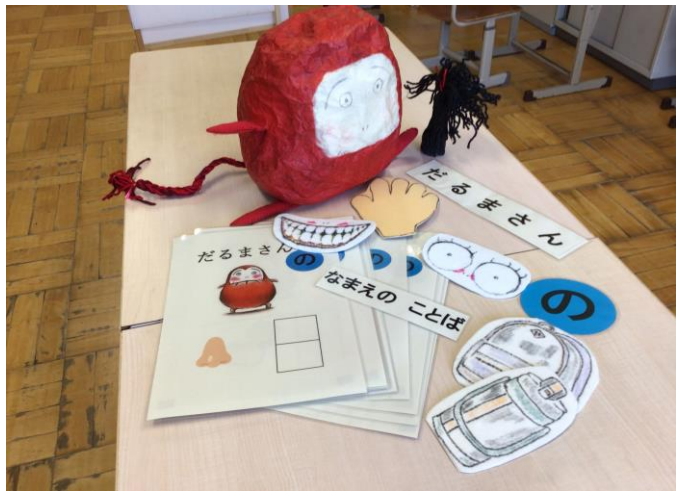
＜材料＞
・マジックテープ、カラーボード
＜使い方＞
・イラストの該当場所と文字のマッチング
<この教材で伸ばしたい力>
・自分の身体の名前や位置が分かる
・分かる文字を増やして、日常生活に活かす
＜使う時のポイント＞
・身体のパーツの位置と文字や言葉が結びつくように、身体を実際に動かす活動と教材を操作する活動の両方でアプローチする。
〈指導領域・教科等〉
・国語

題材名：キャップdeマッチング

＜材料＞
・クリームケース・動物シール
＜使い方＞
・カップとフタのイラストを合わせ、キャップを締める
<この教材で伸ばしたい力>
・目と手の協応
・指先の力
＜使う時のポイント＞
・フタをはめるだけでなく、回して締める
・似ているイラストがあるので、集中力が必要
〈指導領域・教科等〉
・自立活動

題材名：おおきなかぶ

＜材料＞
・布・ロープ（写真にはないですがカブに結んでいました）・首から下げる登場人物表示
＜使い方＞
・読み聞かせ後、登場人物になりきって実際にカブをみんなでひっぱる。
＜ポイント＞
・「おーい。〇〇さん、きてください」「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声で楽しく取り組む。
<この教材で伸ばしたい力>
・物語の内容の理解を深める。
〈指導領域・教科等〉
・国語

<table>
<tr>
<td> 
</td>
<td>題材名：なまえのことば　（うごきのことば　ようすのことば）
＜材料＞
・紙袋（新聞紙）・フェルト・Pペーパー・板目用紙・毛糸他
＜使い方＞
・「だるまさん」を操作しながら、め、て、け等の名詞を学習する。絵本の中の言葉に限らず、体の部位や生活の中で使われる物の名前へと広げていく。語彙の広がりが見られたら、動きの言葉（動詞）様子のことば（形容詞）と発展させる。
<この教材で伸ばしたい力>
・語彙の拡大・助詞の理解
＜使う時のポイント＞
・操作を伴いながら学習に取り組ませる。
〈指導領域・教科等〉
・国語　２段階目標</td>
</tr>
<tr>
<td> </td>
<td>題材名：指を使おう！よく見よう！
＜材料＞
・爪楊枝・爪楊枝ケース・南京錠・ポンポンボール・プラスチックケース等
＜使い方＞
①爪楊枝を色ごとに爪楊枝ケースに入れる。
②プラスチックケースにポンポンボールを指先で押してから一つずつ入れる。
③南京錠で鍵を開ける。
<この教材で伸ばしたい力>
・目と手の協応動作、手指の巧緻性を高める課題。３つの課題に取り組むことで、①つまむ②指先で押す③ひねる動作を網羅できる。
＜使う時のポイント＞
〈指導領域・教科等〉
・自立活動・身体の動き・環境の把握</td>
</tr>
</table>